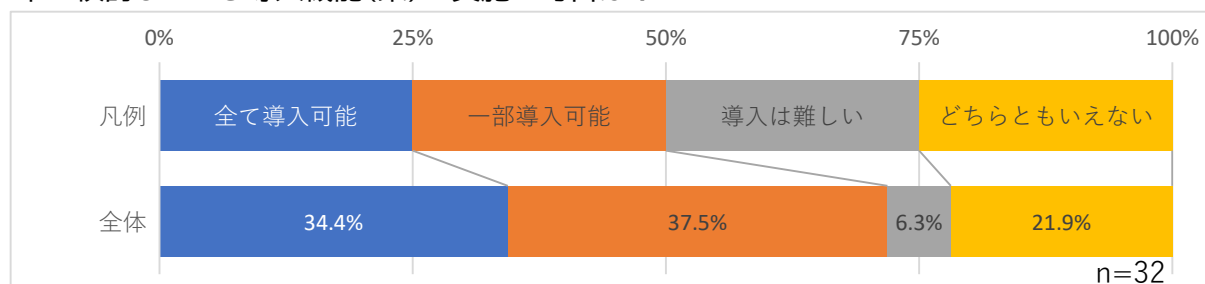


1 アンケート回答結果

分 類	配 布 数	回 答 数	回 答 率
運 営 企 業	15社	8社	53.33%
建 設 企 業	55社	24社	43.64%
合 計	70社	32社	45.71%

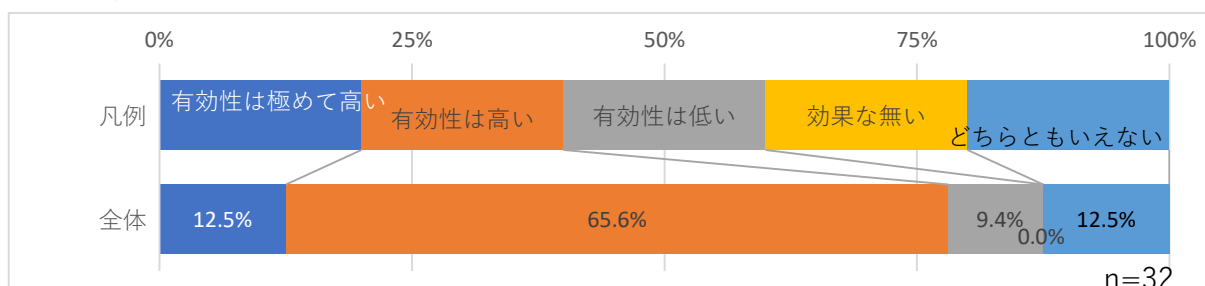
2 アンケート調査結果

1) 市が検討している導入機能(案)の実施の可否は？



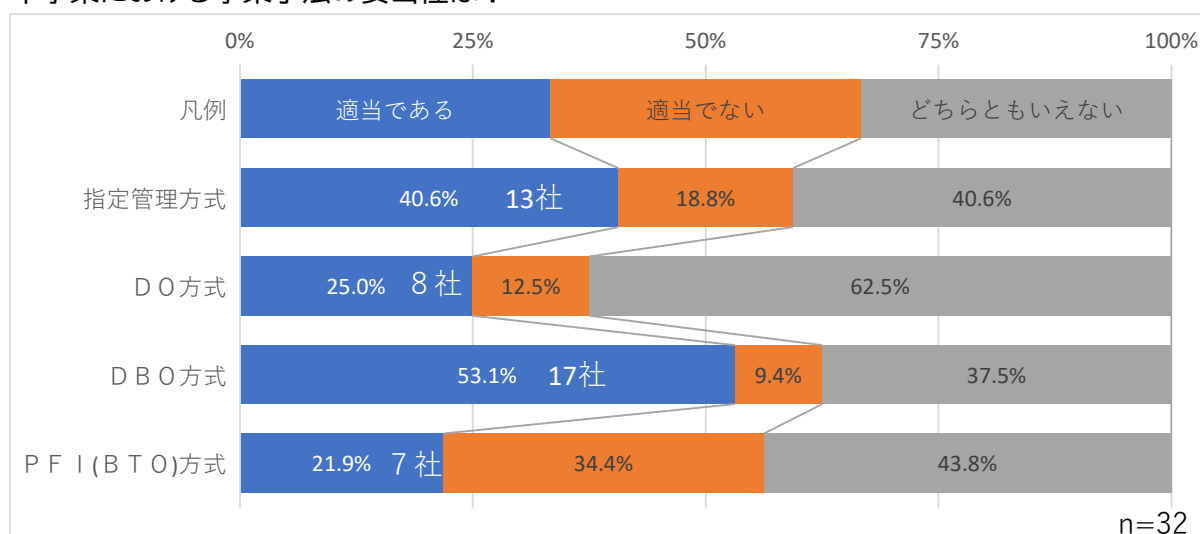
※全て可能と一部導入可能が71.9%

2) 官民連携事業手法の導入の有効性は？



※有効性が極めて高い、高いが78.1%

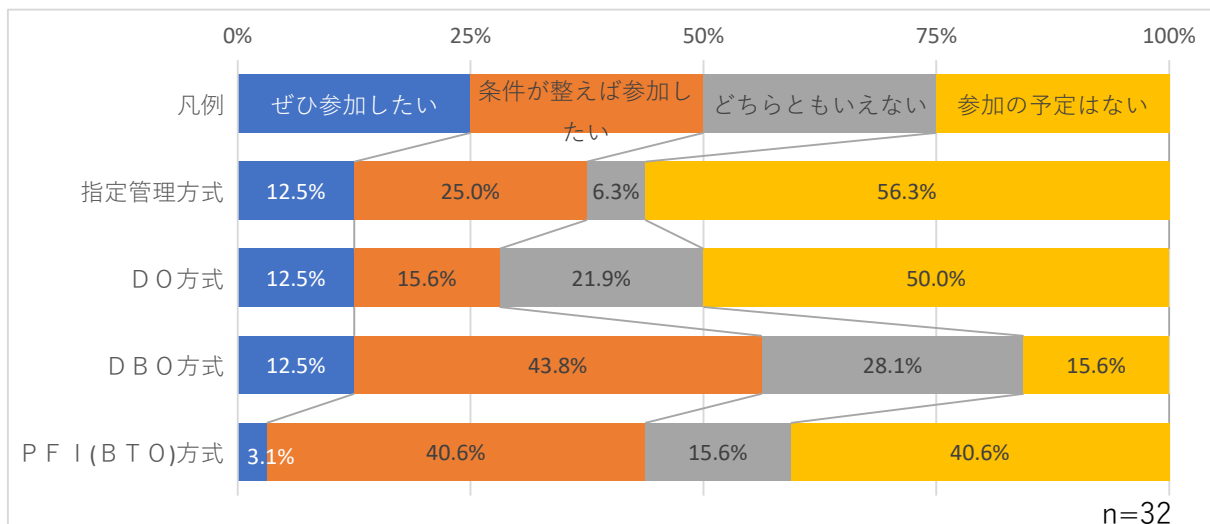
3) 本事業における事業手法の妥当性は？



※DBO方式が53.1%、次いで指定管理者方式が40.6%

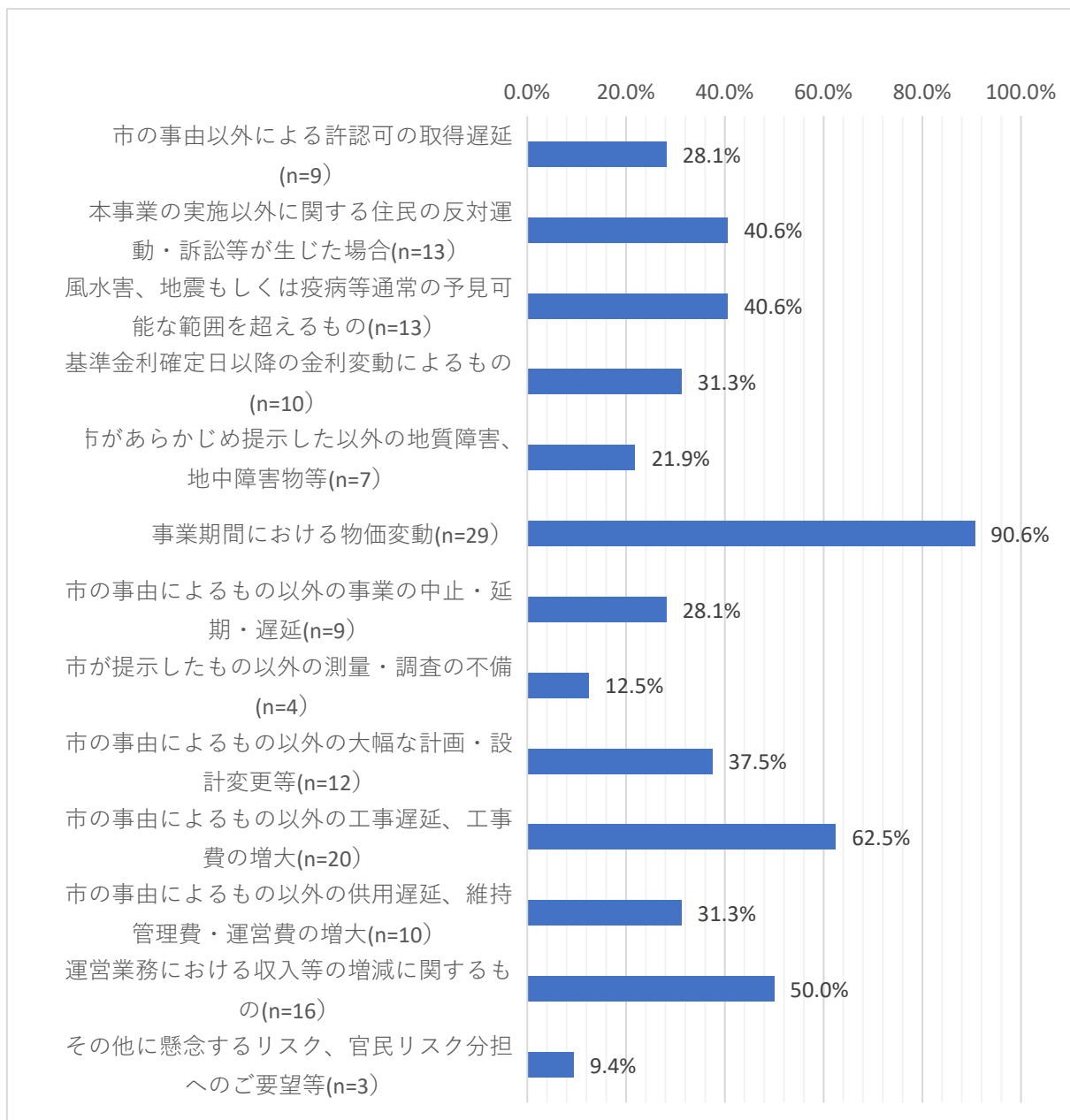
3位がDO方式、最下位がPFI方式

4) 事業手法ごとの参加意向は？



※DBO方式での参加意向が56.3%と最も高かった。

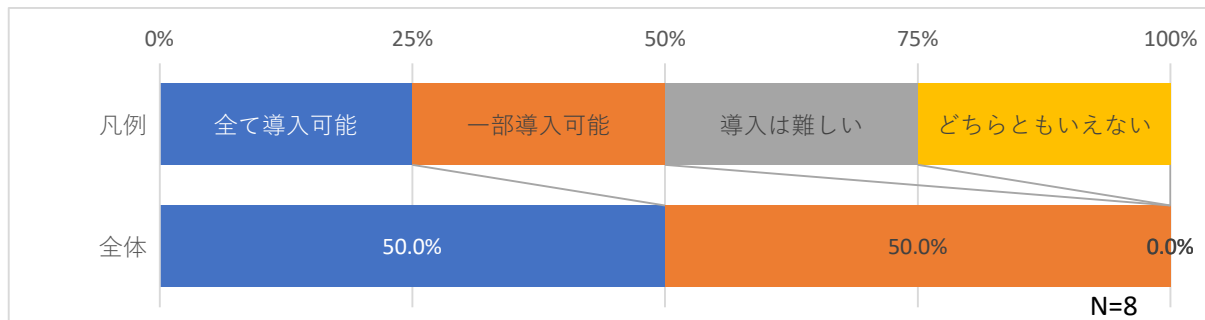
5) 特に懸念するリスクは？



※ほとんどの事業者が物価変動リスクを懸念している。

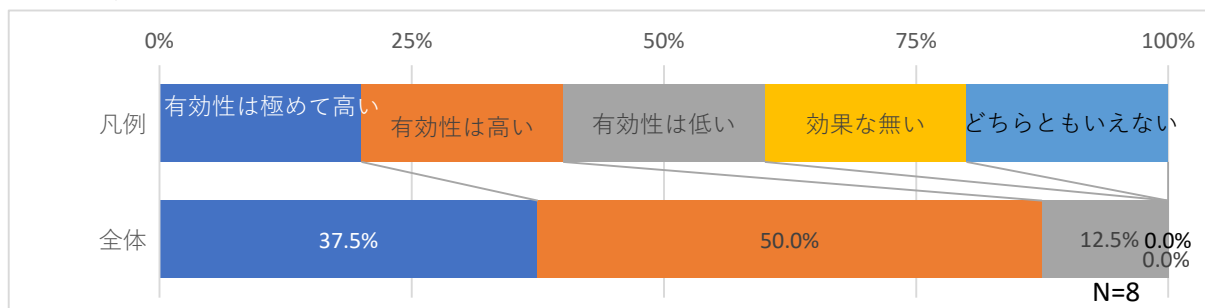
3 アンケート調査結果 運営事業者抜粋

1) 市が検討している導入機能(案)の実施の可否は？



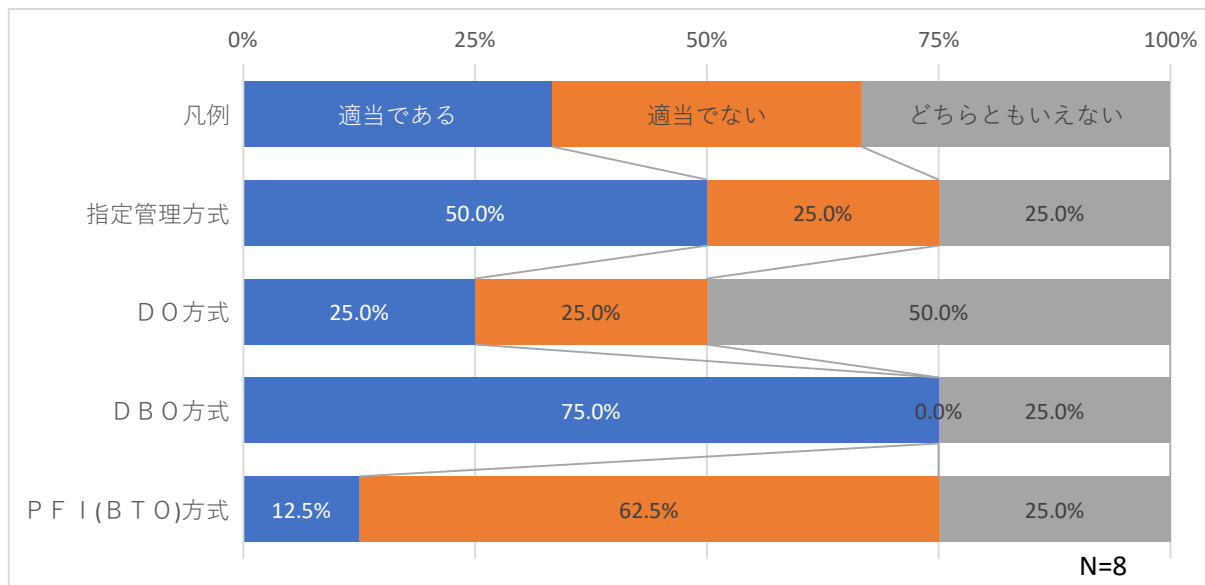
※全て可能と一部導入可能で100%

2) 官民連携事業手法の導入の有効性は？



※有効性が極めて高い、高いが87.5%

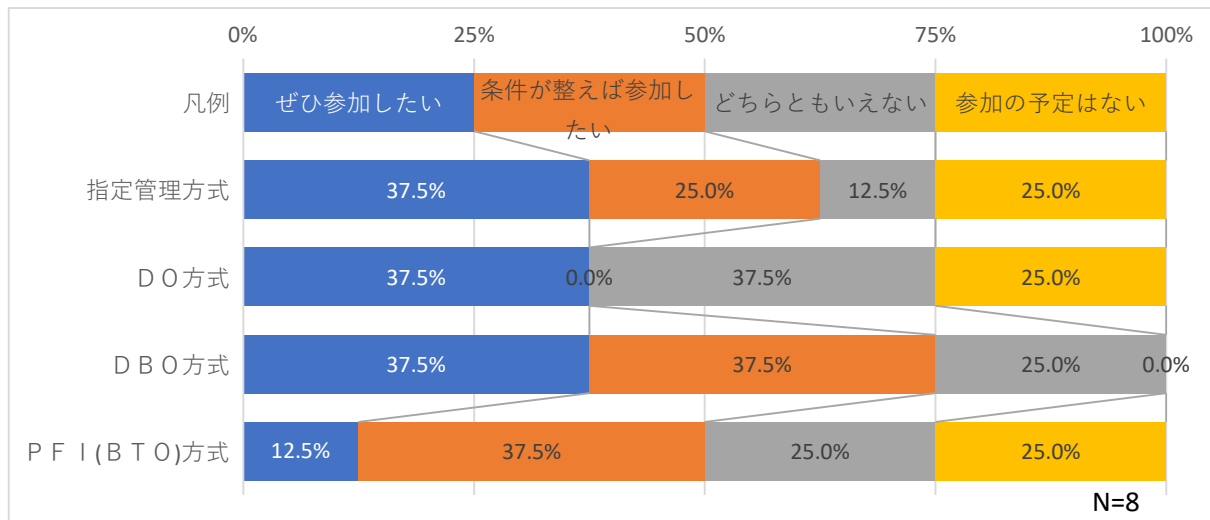
3) 本事業における事業手法の妥当性は？



※DBO方式が75%、次いで指定管理者方式が50.0%

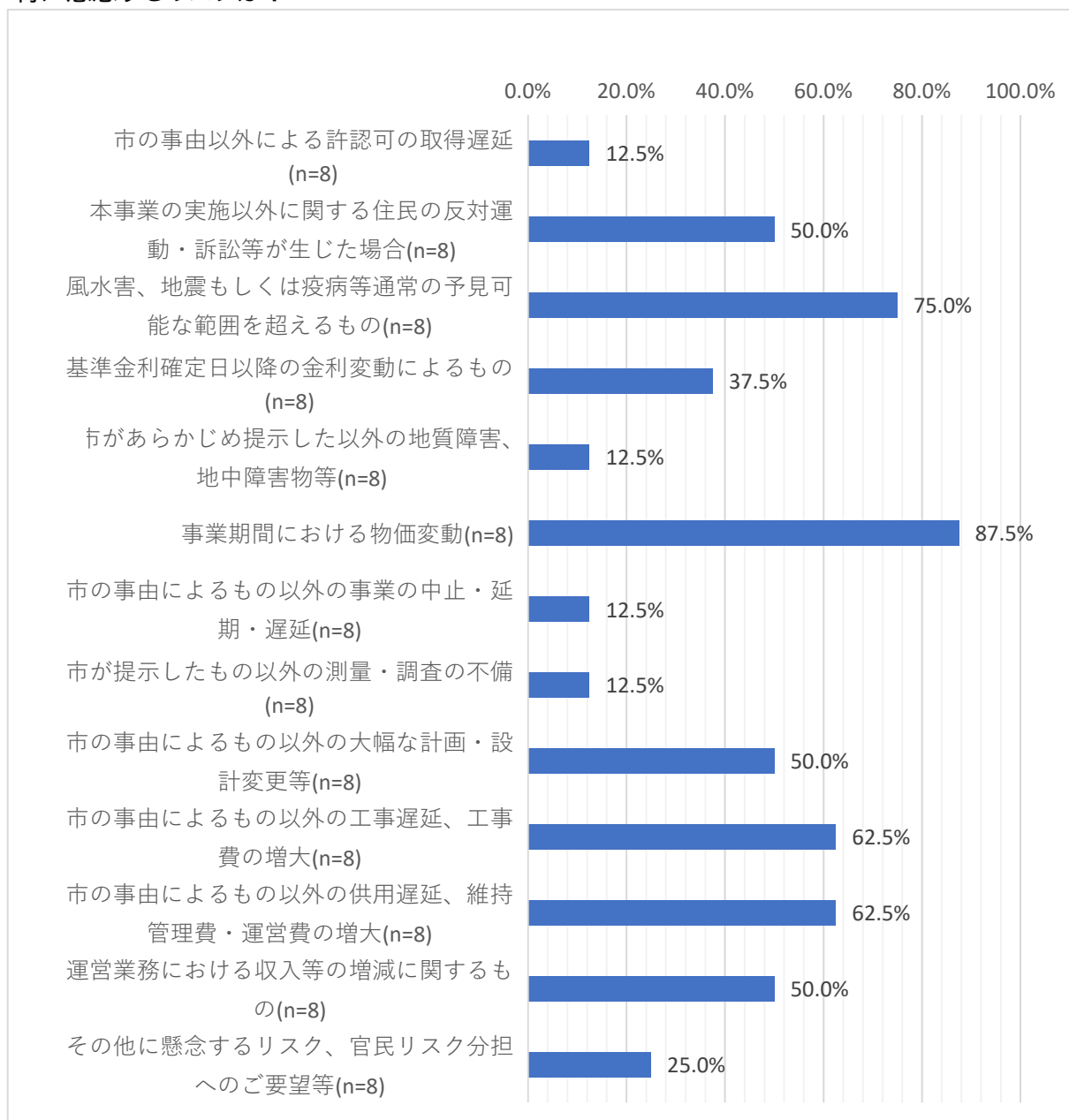
3位がDO方式、最下位がPFI方式

4) 事業手法ごとの参加意向は？



※DBO方式での参加意向が75.0%と最も高く、次いで指定管理方式が62.5%であった。

5) 特に懸念するリスクは？



※ほとんどの事業者が物価変動及び災害リスクを懸念している。

4 事業者ヒアリング内容について

1) 市内各種団体等

- ・ 道の駅に期待すること・活用方法
- ・ 出店や連携の可能性
- ・ 市内の需要供給状況
- ・ 懸念事項等

2) 建設事業者

- ・ 道の駅に期待すること
- ・ 施設規模や動線
- ・ 望ましい事業手法
- ・ 懸念事項等

3) 運営事業者

- ・ 道の駅に期待すること
- ・ 施設規模や動線
- ・ 望ましい事業手法
- ・ 開業準備、運営期間
- ・ 懸念事項等

5 導入可能性調査結果の概要

- ・ 概ね市が検討している内容で進めることに大きな問題はない
- ・ 施設別の規模(特にバックヤード)や動線についてはよく検討すべき
- ・ DO方式及びDBO方式はグループを形成するうえで、課題がある
※関係性のある事業者同士でグループを形成するため、地元事業者の参加が難しい
- ・ 指定管理方式で設計に関与することができれば、DBO方式より指定管理方式の方が参加意向事業者が増加する可能性がある
- ・ 事業者が懸念するリスクについては、発注時に対応を検討する